

直腸がん

【聖路加国際病院ロボット手術センター】

（当院では健康保険が適用されております）

< 直腸がんの手術方法 >

01. 開腹手術

従来の標準的な治療
です

02. 腹腔鏡手術

低侵襲※で傷が小さく
体への負担が少ない
ですが、特に縫合に
おいて技術的に難し
い手術です

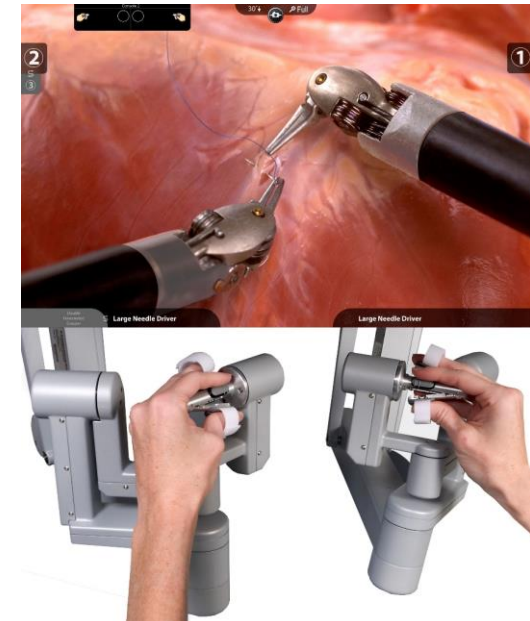
03. ロボット支援手術

腹腔鏡と同じく低侵襲で傷
も小さいですが、腹腔鏡で
技術的に難しい手技（縫合
や直腸周囲の剥離など）の
制約が解消されています

※低侵襲…手術・検査に伴う痛み・出血などをできるだけ少なくすること

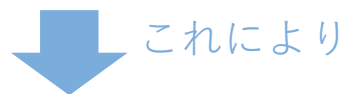
< ロボット支援手術とは >

腹腔鏡手術をさらに発展させた手術方式です。
高解像度3Dカメラ画像を見ながら、微細な動きを実現できるロボットアームを操り、より安全で体への負担が少ない手術を行えます。



<ロボット支援手術のメリット>

ロボット支援手術は、
より正確で、より安全な手術が可能となります。



メリット 開腹手術に比べ、傷が
01 小さく、痛みや出血が
少ない手術です

メリット 従来の腹腔鏡手術より
02 も、容易な手術が可能
です

メリット 合併症のリスクを低減
03 できます

※直腸がんに対するロボット支援手術は狭くて深い骨盤内でも正確な電気メス操作が可能であり、術後の機能温存（排尿障害や勃起射精機能障害が少ない）が期待できます

< 入院経過例 >

入院期間：10日間

1日目	手術前日	入院	絶食
2日目	手術当日	手術	
3日目	手術翌日		歩行、飲水開始
7日目	術後5日目	流動食開始	
8日目	術後6日目	五分粥開始	ドレーン抜去
9日目	術後7日目	全粥開始	
10日目	術後8日目	退院	